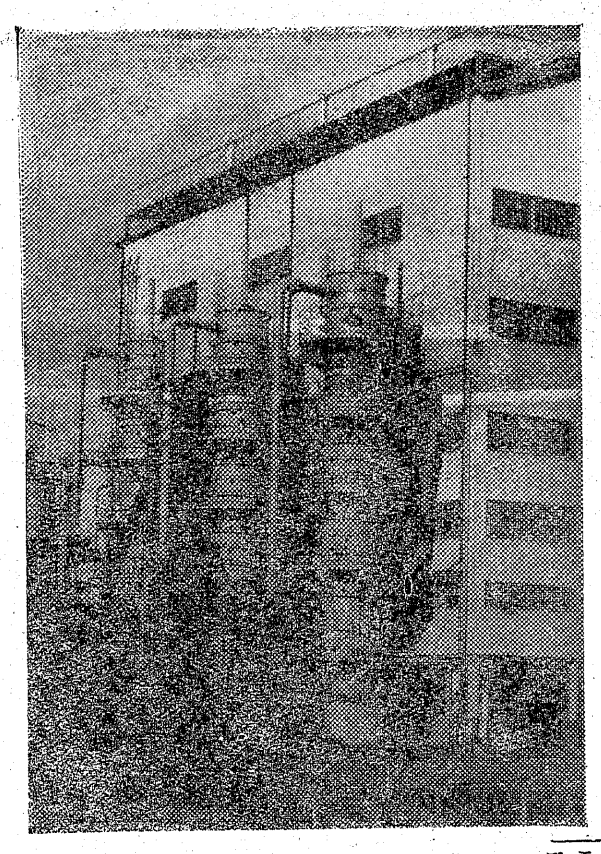
三和新報
THE SANWASHIMPO

2月2日（木曜日）

発行所 三和新報社 平市田町 電話1053

第535号 昭和29年6月17日第三種郵便物認可
日刊・日曜・祝祭日を除く 購読料1カ月50円

裏地は甲商サベリ 特約店
丸進 平東ぎんざ TEL.2185



焼け出された友を救え
平二中の助け合い運動

厳寒に咲く学校美談

この寒空に焼け出されて丸ハダカとなつた可哀想なお友達を私達の友情で希望を持たせましようと平二中の生徒会（会長竹元洪夫君）では全校挙げての助け合い運動を展開している。厳寒に咲く心温る学校美談！。

去る一月二十七日夜起つた平市堤ノ内一棟六世帯丸焼けの時、罹災者中に平二中二年生加藤千恵さん（三）と一年生宣弘君（二）の姉弟、同一年加藤京子さん（二）の三名がいた。同夜はとくに千恵さん姉弟にとつては父作平さんのお通夜の晩で、貰い火で焙烙をやつとかつぎ出す始末だつた。しかも生活保護を受けていた家族だけに着のみ着のままで親類の家に避難したが

次の日から全く困窮のドン底に追いこまれ、生活はどうしようもなくなつた。この時、火事見舞に同家を訪問した草野校長は早速職員一同と協議して、とりあえず学校と職員一同の名で両家に二千円づつを見舞つた。これを伝え聞いた同校生徒会では私達もお友達の困つている時に黙つてはいられないと全生徒挙げて〃加藤さん一家に温い手を差しのべましよう〃というスローガンを掲げ、きのう一日を締切に、一人お金では五円くらい、衣類は家にあるもの何んでもという心のこもつた贈り物をした

子供に尊敬と誇り

▽草野伍郎校長談＝子供たちが本気になつて困つているお友だちを助けようという意気込みを感じ、実に嬉しい。お互に災難のあつた不幸な人を助けようという気持になることは人間としての道ではないでしよう。私の学校の子供たちが本当に自主的に立ちあがつてくれた行いに尊敬と誇りを感じております。

リヤカー二台の贈物

不幸な友達を救おうと立ちあがつた平二中の生徒会の愛のプレゼント運動は、大きく全校に反響し、現金八千円とオーバー、下着など衣類がリヤカー二台ほども山と積まれたので竹元生徒会長ら代表はきよう二日加藤さん一家に送り届けた。

日水労組て功労者表彰

磐城市高山 日本水素労働組合創立十周年記念の講演会は一日同工場講堂で日本社会党政策審議副会長代議士成田知己、日本共産党中央委員同党統制委員長春日正一の両氏を招いて「日本経済の将来と労働問題」と題して行つたなお組合創立以来の功労者を表彰した。

高橋清一（現在東北肥料勤務）志賀重勝、松本太一、沼田五男、真島国雄、島根精記、土塚昇、上野末治、木村裕、佐藤喜一郎、大里茂雄、成田寛。

平三小でも愛の手
職員、PTAも同調す

平二中の全校愛のプレゼント運動に呼応して平三小児童会でも、同じく堤の内の火事で焼け出され寒空に泣く不幸な一年二組江尻敏昭ちやん（七）ら八名のお友達を救おうという運動を展開している。

運動方針は生徒会の話し合いを全校一年から六年まで呼びかけたもので、きよう三日まで「お小遣いのうち一円でも二円でも一」出し合つて四日贈りとどけようというもので、学校側職員もPTA会もこれに同調し罹災家庭四軒にそれぞれ一千円を贈ることになつた。

今朝は零下七、三度
本年最高 水道の破裂四十七件

寒明けを明日にひかえてきよう三日朝はもの凄い寒さに市民をフルエあがらせた

一日中のうちで一番寒いのはお天とうさまの出る一寸前である。きよう二日はもの凄い寒波襲来で最低気温は零下七、三度という本年最高の寒さだつた。このため平市内の水道管破裂も本年の記録を破つて四十七件にのぼり市水道課をテンヤ、ワンヤさせた。だが昨年最高の寒さは、もつと凄く一月十日の零下七、九度だつた。

目黒、小林両巡査優勝

常磐署の柔剣道寒稽古納会

常磐署の柔剣道寒稽古納会試合は三十一日午後三時から湯本公民館にひらいたが柔道の部では目黒巡査、剣道の部では小林（秀）巡査がそれぞれ優勝した。

原動機自転車合格者

去る一月三十日、平自動車試験場で行われた原動機付自転車の合格者は二日次のように発表された。

緑川定好、小林喜一、斎藤正太郎、鈴木正利、金成義美、小沢清正、四家一彦、鈴木正二、龍谷紀夫、菊地政茂、松本徳四郎、熊倉新蔵、青木守正、篠崎仲衛。

浜はイワシブーム
約一千万円を水揚げ

漁期に入つた小名浜港のイワシ水揚げは今年に入つていよいよ活気をみせ、浜はイワシブームである二月末まで昨年の倍の七千万貫約一千万円を水揚げした。いま同港で操業しているのは六カ統（一カ統四隻）で、漁場は茨城県沖である。水揚げされたイワシは浜相場で買当り八十円から高値三百円で八割まで鮮魚のまま京浜向け搬出されているほかは煩ざしにされており、地元加工屋はてんてこ舞いである。

湯本で拾子騒ぎ

けさ常磐線平駅着八時五十分四二一列車が湯本駅に停車中、ホームに十一才くらいの男の子を置き去りにして乗車した年令四十二、三才くらいの茶色のオーバーを着た男があるというので、スワ拾子とばかり平鉄道公安室に急報、公安室は各駅々に照介するなどモノモノしい警戒網を敷いた、ところが常磐市の某さん（四三）が私用で郡山市まで出るため坊やを知人の湯本駅前某雑貨店にあずけたが、その坊やが親恋しさ？のあまりあとを追つて駅ホームにまできたものを捨子と感違いしたもので、チヨンとうさまの出る一寸前である。きよう二日はもの凄い寒波襲来で最低気温は零下七、三度という本年最高の寒さだつた。このため平市内の水道管破裂も本年の記録を破

高潮被害調査に来平

水産庁目黒技官、農林省吉田事務官ら二行六名は四日来平、五日から豊間、沼ノ内方面の高潮被害調査を行う。

常磐小中高補導会

常磐市内小中高校の補導会は三日午後一時から長倉小にひらき児童生徒の心得、および生徒指導などについて協議する。

平で火事

きよう午後二時ころ平市三丁目九大谷昌子さん宅から出火、居間と調理場を半焼して鎮火した。附近は駅前三十メートルに面し七十七銀行、東邦銀行などの繁華街でもあり、折からの風速十メートル以上の突風にあおられ一時は大騒ぎとなつた。原因について平署で調べているが、あす葬式のため料理をつくつている調理場の煙突の過熱らしい。

常磐土地改選挙は十四日

常磐市土地改良区総代選挙は十四日行われる。定数は旧磐崎三十人、旧湯本四人旧内郷島六人で第一投票所藤原小、第二投票所磐崎支所、第三投票所市役所、第四投票所鹿島出張所で有権者は八九四人。

天気予報

【今晩】北西の風一時曇、海上は風波がやや高いでしよう。
【明日】北西の風晴時々曇、海上は次第におさまるでしよう。

世界第二の装置
日本水素のコッパース爐

日本の硫安のコストは外国に比較して高く、そこで市場確保のため出血輸出という非常手段をとつていた。これではいけないと日本水素小名浜工場では常磐地方の安価な低品位炭を利用し生産原価を引下げるというコッパース式微粉炭ガス化炉の建設に着手しこのほど完成した。

日本では初めてのものであり、世界では第二番目にあたるという躍進常磐地区工業界がほこる装置であると共に、低品位炭処理に悩んでいた常磐炭起死回生の一翼を担うことになつた。この工費十一億万円。現在まで同工場で使用していた硫安の原料は六、二〇〇カロリー級の高品位粘性コークスではこんど、コッパース炉によるとトン当り千二百円前後の四、〇〇〇カロリー級低品位炭を年間十二万トン使い、コストを一割万安い国際相場まで引下げようというものである。また同工場の硫安生産は十二万トンだつたが、さらに十三万トンに増産される。日本水素が明けゆく常磐地区の先駆者として燃料としての使命だつた石炭を、さらに原料として高い価値にもつていつた劃企的な躍動振りを示す世紀の装置である。（斉藤）

（写真日本水素のコッパース工場）

発開磐常する躍動 ⑤

社本 磐城支局開設

かねて磐城地区の本紙拡充強化をしてきましたが、このたび左記のとおり支局を開設しました。

磐城支局
磐城市小名浜町上明神町
春山直臣

父大谷武雄儀予ねて病気療養中のところ薬石効なく一月三十一日午前六時五十八分死去いたしました。茲に生前の御厚誼を深謝し謹んでご通知申上ます。

追つて葬儀は来る二月三日午後一時自宅出棺大宝寺に埋葬いたします。

昭和卅一年一月卅一日 平市三丁目九

喪主 大谷昌子
妻 大谷義隆
親戚代表 円谷洋一郎
友人代表 山田勇太
関内正直
坂本吉一
堀江新太郎

産婦人科・外科・X線科
★入院完備★
久保田医院
磐城市下横町
電（磐城）二二

五十圓で満腹 百両で醉ひどれ
酒、酒、酒だよオ、湯本の百両
いつも俺は粗取党よ
呑んで歌えばすぐ夜は更ける
明けりや炭鉱で
ドント ハツパかける
これは私の店一湯本の百両の唄です。私が酒場を始めたのは私も酒が好きで酒飲みの心理がよくわかるからなのです。夕べに親しむ一杯の盃の酒がベラボウに高くては酒飲みはやり切れません。御承知のように私の営業する湯本は常磐炭鉱のお膝元です。炭鉱には地下三千尺、あの熱湯と斗つて作業する勤労者がいるのです。心ある者なら、どうして、この勤労者から高い飲み代を取ることができるでしようか？私は共産主義でもなければ社会党員でもありません。唯、私は勤労者の味方なのです。だから私は勤労者から高い代金をとろうなどと考えたことはないのです。私が今の店を開業したのは昭和二十三年頃といえば、日本の財政経済を破壊するような大インフレが蔓延の最中で、今日もらつた賃金は、明日はその半額か三分の一くらいにしか使えないような貨幣価値の下落する時でした。ヤミ商売でもしている人は別として、まじめな勤労者にとつては、その日その日の生活が容易ならざる時です。「うまい酒を安く充分に」―勤労者に提供することが勤労者の味方であり酒飲みの気持を知る私に課せられた義務のようなものだつたのです。私の店の屋号は、別にこむずかしく考えて出来上つたのではありません。至極簡単です。以上のような私の信念と社会情勢から必然的に生れて来たのです。いつでも五十円で満腹、百両で酔いどれ一の社会を建設するのが私の理想でした。これ以上何もありません。
勤労酒場 湯本の百両
青柳隆司

レコードと楽器・電蓄
天地堂
平市平和通り
TEL589

板ガラス・鏡 陳列ケース
カガミ
婚礼の洋服タンス用 鏡台 各種用 取鏡付 取揃えて御座います
平市平和通り
会田硝子店
Tel.363

なんでもよくする會
三部門で文化活動推進
（常磐藤原）

常磐市藤原部落に近くなんでもよくする会という文化団体が誕生する、この会は「会員の資格は廿五才迄」という年令制限がある、青年会から除名されなければならない青達年によって来る三月結成される予定になっているが昨年五月ころから会員十名が中心となり活動を行ってきたもので青年会から除名され個体的になると集団的な訓練をする機会がなくなるため封建的なカラにとじこもるおそれがあるというところから積極的な社会的意識をもってつくられたもので立派な理論よりもとにかく実践というスローガンのもとに企画がなされており現在「私の台所設計」「私の作業場設計」「私の農業経営」という三部門に分れて研究活動を行っておりまだ「台所」と「農業経営」の二部門は図案だけしかできていないが「作業場」の方は大井川俊司君が作成した図案、模型にもとづいて建築まで完成し実際的に活用しており生活改善運動に貢献するところ大きいと部落民から注目されている。なおこの会に入会している会員十人のうち三輪車、オートバイなどの運転免許状をもっていないものはたった三人だけで驚かされている。

四Hクの発表会
平地区で六名選出

第七回県農村青少年クラブ実績発表大会を兼ねた平地区発表会は、三十日石城財務事務所会議室に、平市をはじめ内郷市、好間村などの四Hクラブ、農事クラブ代表（女四名を含む）が参加して開かれた結果第一（四Hクニ十四才以下）第二（農事研究クニ十四才以下）第三（二十五才以上）と各代表六名を決めた。なお選ばれた三名は三日石城財務事務所会議室で開く県下予選に出場する。平地区代表は次の通り。

▽第一部プロジェクトの発表＝農業経営上からみた胡瓜の早熟栽培…北白土四Hクラブ加藤丈昌君(三)▽トマトの多肥栽培について…上高久四Hクラブ鈴木仁助君(三)▽第二部クラブ活動＝北白土四Hクラブ活動に就て…同四Hクラブ塩保之君(三)上高久四Hクラブ活動について…同四Hクラブ永山茂君(三)明るい村造りを目指してのクラブ活動について…草野四Hクラブ佐藤正男君(三)▽デモストレーション＝幼児食のウドエリ茶わんむしと、カヌタードプリンのつくり方…北白土四Hクラブ塩竹子さん(二〇)。

国会議員を囲み座談会
磐城日本社会党磐城市支部では一日午後五時半から同市県議会田亮氏宅に同党政策審議会副会長成田正吾氏ほか松井政吉代議士、田畑金光参議員を囲み市内各労組代表一般有識者などを招いて社会党の政策と今後の経済情勢の見通しなどについて懇談会を開いた。

押売り、コソ泥など一掃
平署で旧正特別警戒

旧止月も間近くなり商店街はあの手この手の宣伝で客を引こうとそれぞれ趣好を凝らしだんだん旧正気分ができたが平署では近く旧年末年始の特別警戒を行うことになった。この特別警戒は農村地区を重点に例年多くなる押うり、コソ泥などを徹底的に取締ると共に青少年の補導機関と密接な連絡をとって巾のある補導を実施し、映画館やパチンコ屋などの盛り場では街頭補導を行う。特に生活困窮者の人身売買を厳重に監視する。さらに保安関係としては覚醒剤に対する啓発、風俗関係者の取締り古物屋、質屋の指導啓発。また一般防犯として各金融機関、学校、会社、組合、デパートなどには強盗、詐欺、脅迫などの犯罪が多くなるので強力な警戒態勢をしき、一般家庭および金融機関の犯罪意識をたかめることになった

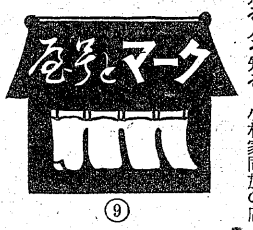
日興で大棚ざらい
一流品を半額奉仕

平市日興デパートでは良い品を安くと四日から三日間旧正年末全店大棚ざらいを行う。掘出し物は子供純綿寒毛シャツ百九十円を九十円、紳士純毛二重手袋四百八十円を百八十円、婦人セーム手袋二百五十円を九十円、丸首シャツ二百五十円を百二十円、寒毛シャツ五百五十円を二百五十円、コットンシャツ千四百円を六百円など優良東京製品を市価の半額以下で提供する。

今晩のラジオ
▼NHK第一
六・〇〇＝シンフン▽南京豆物語
六・二五＝七つの誓い
六・四五＝四局通信
七・一五＝録音ニュース
七・三〇＝浪花演芸会
八・〇〇＝歌の花ごよみ
八・三〇＝由起子
九・〇五＝ニュース解説
九・一五＝のんきタクシー
九・四〇＝時の動き
一〇・一五＝邦楽名曲選
一〇・四〇＝歌舞伎の見方味い方
▼ラジオ福島
六・〇五＝空の向うに何がある
六・二五＝劇「リボンの騎士」
六・四〇＝競馬天狗
六・五〇＝音楽の小箱
七・一〇＝録音ニュース
七・一五＝タンゴの女王
七・三〇＝歌のトランプ
八・〇〇＝民謡奥の細道
八・三〇＝浪曲玉手箱
九・〇〇＝平凡アワー
九・三〇＝慰兵藷アワー
一〇・〇五＝名作アルバム
一〇・二〇＝夜の案内
一〇・二五＝夜の希望音楽会
一一・〇五＝時事解説

今晩の映画
29日～4日
◆聚楽館（六日まで）紅の翼　コマンド（六、二五）
◆世界館　豹の眼　蛮と金（七、二〇）
◆平　館　僕は横丁の人気者　悪の報酬（六、五七）
◆ひかり座（六日まで）死刑か裏切か　風雲のバビロン（六、二五）
◆東　映　雄呂血の秘宝　不良少年の母（七、三〇）
◆民　劇（六日まで）ジャンケン娘　たけくらべ（七、〇〇）
◆綾映劇（四日まで）我が名はペテン師　君美しく（六、五〇）
◆第二いわき（四日まで）河岸の石松大会　虚無僧系図（六、三〇）
①映画題名は上映順
②上映時間は夜の部

お店の鼻が高い



猫も杓子も、というとお叱りを受けることになるが、誰もが洋服に「靴」のこれからの生活に、それを百も承知で、必要性のせばめられた「下駄」の商売を続けて、下駄の伝統の孤塁を護る店―平の小松履物店、仙台屋履物店、てんぐや履物店は、知る人ぞ知る、小松家同族の店である。日本人の生活から畳の上に坐る様式がなくならない限り、伝統ある下駄は、今日明日に、そう急激にはずたのはしないーといって、永久に「下駄」でめしを食う積りではないのだが…

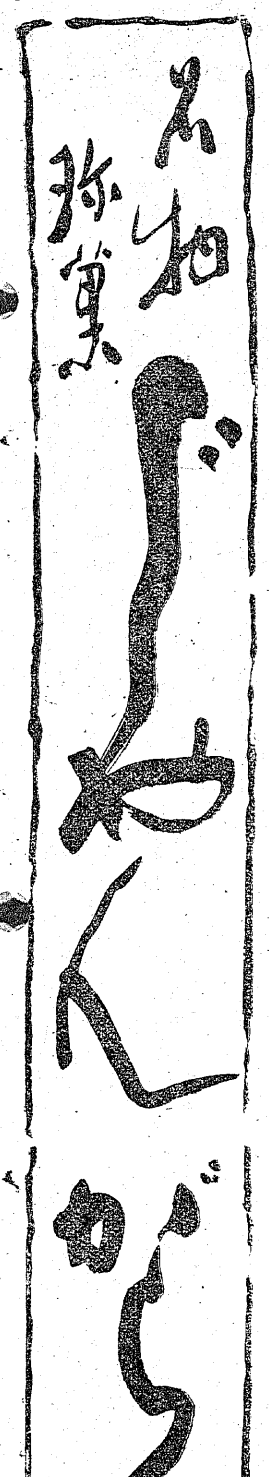
てんぐ屋履物店 仙台屋履物店の巻

さてでんぐ屋の屋号だが、下駄と天狗とどんな関係があるかとか、何故、てんぐ屋とつけたのだとか、てんぐやの屋号についてはよく質問される。そういう私も、下駄と天狗の関係はよくわからない。落語式にいえば下駄を一番先にはいたのは天狗ではないかなどとも考えられるそれは、天狗は必ず一本歯の下駄をはいた古い物語りに出て来るからだ。しかし私の屋号はそれだから、てんぐやとしたのではない。誰でもそうであるように、その商売に志したら、ゆくゆくはその商売で名を成したい位の夢と希望は持っているであろう。で、私もそんな夢を抱いて、大阪、道頓堀にある日本一の下駄屋「天狗屋」にならうつけたのだが、天狗の鼻が高いなればこそ、下駄屋ののれんにますます磨きをかけているのである。御承知のように仙台屋履物店は中央通りと五丁目に二軒ある。支店と本店だが、五丁目の本店は、店舗の豪華さ、東北一ではないかと思つている。本店にある千数百枚の鏡のカットガラスをちりばめた大黒柱は、開店当時、懸賞付であつといわせた逸物だ。東北一の履物のデパート、こう自任するような店舗にでもしなければ、それこそ下駄はすたらなくとも、店がすたつていくのではないかとこんところに今の下駄屋の栄える道があるようだ。前置きが大変なながくなつたが、仙台屋履物店の屋号は簡単だ。母が仙台出身なので、平で、仙台屋と名のつたとのこと。

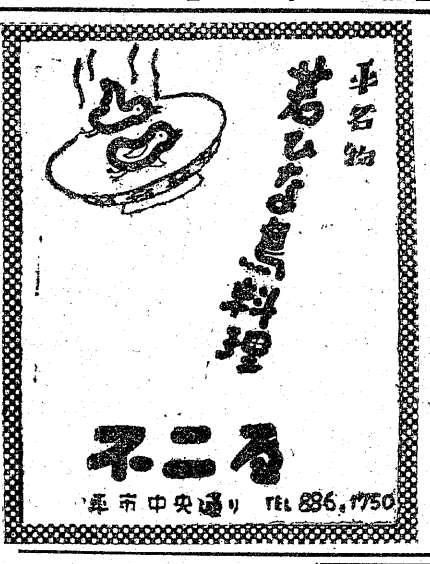
小松俊夫

仙台屋履物店一前にも書いてあるように靴の時代に下駄をはかせようとするのだから並大ていの努力ではない。といつて私は下駄がすたつたとは思つていない。下駄は下駄で、まだまだ必要がられていることは家庭生活を見ればわかると思う。創業三十年、仙台屋履物店は、それなればこそ、下駄屋ののれんにますます磨きをかけているのである。御承知のように仙台屋履物店は中央通りと五丁目に二軒ある。支店と本店だが、五丁目

鈴木芳夫



進歩的な本なら
平市二丁目
東雲堂



栄養随一
美味第一経済的にもお肉は一番お徳用!!
牛肉の緑屋
本店 平市一丁目 電五三九
売店 平市中央通 電七九四
（新設）売店 平市銀座通電 二三七

整形外科 外科 内科 レントゲン科 理学診療科
入院随時
福島県平市三十米道路
財団法人
竹林病院
院長 竹林貞吉
電話（本院）六〇八番 八一一番
（分院）二七四番

カメラとDPEは
富士商会
平駅前 電五六、二一四四

両陛下献上・高松宮献上
工芸技能賞・名誉知事賞
◆全国各地へ発送の御用命承ります◆